

東由利町報

No.237 昭和51年8月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日発行



No. 237

8

1

＜ぼくたちのプールができたぞ！＞

児童たちが、泳げるのはいつの日かと待ち望んでいた住吉小学校プールが完成し、7月20日にプール開きが行われました。

当日は、だまっていたても汗ばむほどの好天で、竣工式にひきつづき鶴舞小学校水泳部によって行われた基礎遊泳の公開に児童たちは真剣に見、聞き入っていました。そのあと、いよいよプールでの初遊泳、おそろおそろプールに入る児童もいましたが、一度水にもぐるとたちまち元気にはしゃいでいました。

今、プールは同地区や町内各地区の小中学生でいっぱいです。

新町議会スタート

議長に長沢氏

副議長に小野(昭)氏決まる

新議員による初の臨時町議会(第四回臨時会)は、七月二十三日役場会議室に招集され、議長に長沢毅氏、副議長に小野昭一氏を選任したほか、議長・常任委員会の構成、議会選出監査委員などを決め、今後の町議会の体制を整えました。

最年長者である藤原虎之助議員が臨時議長となり、議会人事案件を審議し、選挙の結果議長には長沢毅氏が選任されました(議長選挙)

長沢 毅氏 九票
田代寿治氏 八票
遠藤正男氏 一票
長沢議長が議長席に着き、議席を決定(右図のとおり)した

あと、副議長人事の選任に入り選挙の結果、梅津二三雄氏と小野昭一氏が同数(九票づつ)の支持を受け、抽選の結果小野昭一氏が副議長に選任されました

そのあと各常任委員会委員が次のとおり決まりました(◎は委員長◎は副委員長 敬称略)

総務常任委員会

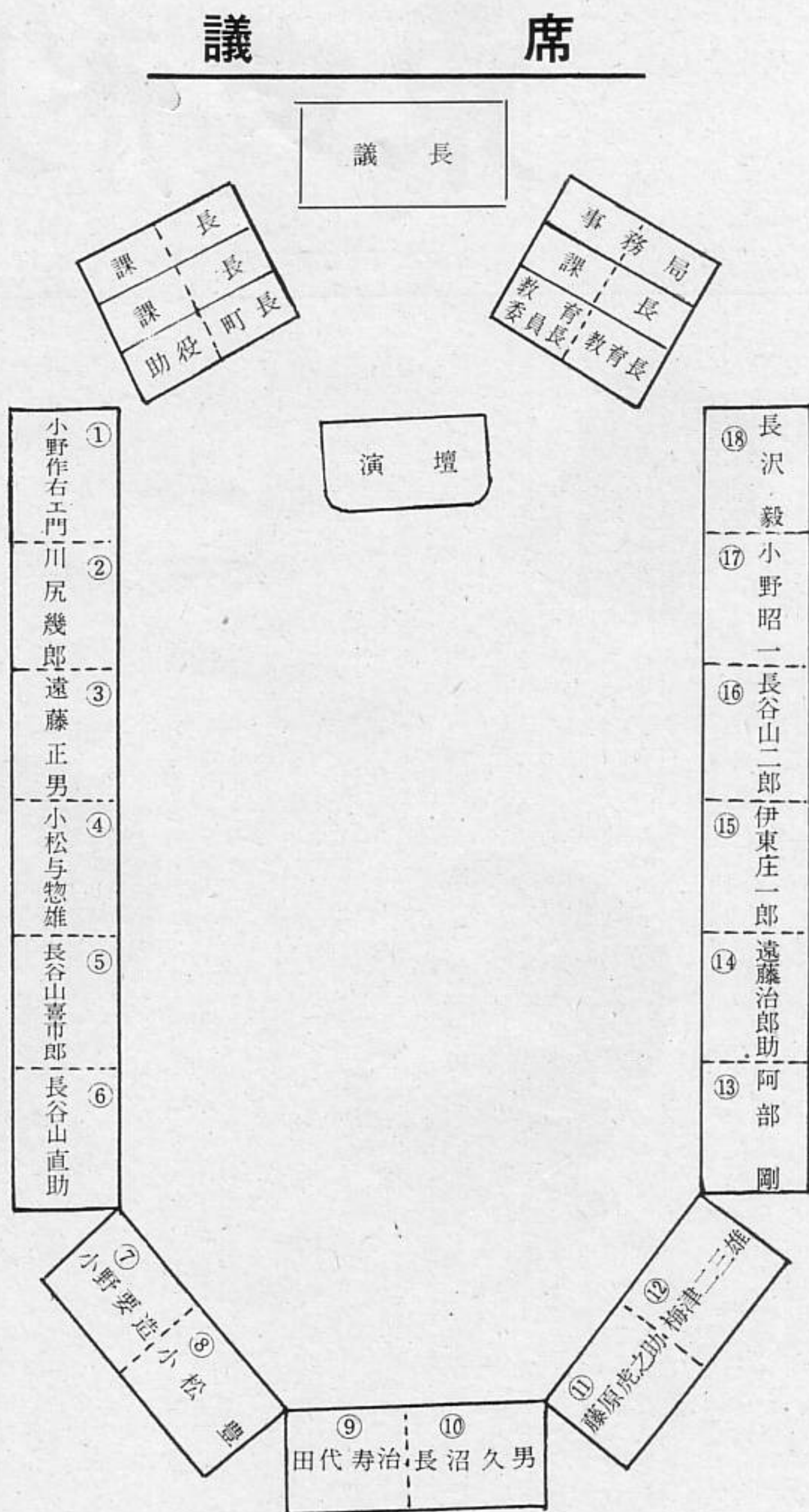
◎小松 豊 ◎小野作右エ門
長沢 毅 小野昭一 小野要造
遠藤治郎助

教育民生常任委員会

◎藤原虎之助 ◎長谷山直助
田代寿治 伊東庄一郎
産業経済常任委員会

◎長谷山喜市郎 ◎長谷山二郎
長沼久男 梅津二三雄
建設常任委員会

◎小松与惣雄 ◎川尻幾郎 遠



町長日記

6/22 六月定例議会。予算補正額七三、〇四四千元で予算総額一、一八七、〇七四千元となる。任期最終の定例会。

6/24 宿部落会館で、下吹線の改良舗装の協議会。高瀬川をはさんで、国道道の対岸の並行町道の改良舗装事業が全部でできることになる。

6/27 全町球技大会。年々盛会、参加各チームの御健闘に感謝。

6/28 子吉川改修期成同盟総会。建設省河川課長、東北地建局長に改良促進を陳情

6/29 米価要求農協大会
外国食糧の依存から脱却して民族食糧である米の生産の安定を確保しなければならぬ。値段を上げずに生産を仰ぐとは、全く近視的政策である。

7/2 たばこ小売店組合の総会。五十一年度の本町予算の町税は七一、四〇〇千円であり、うちたばこ消費税は八、〇三九千円で約十一%を占めている。

7/4 袖山地区のグラウンド開きをかねた運動会。山狭の丘陵を拓いたグラウンドに、文字通り地域総出の運動会となる。

7/5 ことぶき大学。齢をとるほど学ぶ必要と大切さを感じる。百三十余人の出席で盛会。
午後、大曲で出羽丘陵開発協議会。

7/6 五十一年度町畜産共進会。出陳頭数は昨年より下回ったが(昨年七十七頭、本年三十七頭)、快晴に恵まれ、質的に充実した共進会であった。

東由利の肉用牛頭数
二月現在 一、四四三頭
前年同期 一、三六三頭

7/7 大琴会館において町営計画の上ノ台の圃場整備と町道根小屋線の改良事業の協議会。

7/8 県林務部、長島木工係長と本町の木工業振興について協議する(小規模木工協同化促進対策事業)。

7/9 郡畜産共進会。本町からの出陣七頭、うち入賞



町消防訓練大会

防災の責務を担って

総合優勝第5分団

町恒例の昭和五十一年度消防訓練大会は、去る七月二十六日台山グラウンドに開催され、規律訓練、操法に力強く競技が展開され、総合では第五分団が、通常点検及び小隊訓練では第四分団が、また、消防操法では第五分団第二部第一班が第一位となり、七月三十日の郡大会への出場権を獲得しました。

炎暑の中、太田副団長の指揮のもとに整然と隊列を組んだ団員たちは、訓練に次ぐ訓練でいずれもまっ黒に陽やけし、防災への大きな決意をみなぎらせていました。

県消防協会由利支部長、由利福祉事務所長、本荘地区組合消防署長、町議会議員など多数の来賓と一般参観人が見守る中で堂々の入場行進を行い、殉国の碑に黙とうを捧げたあと、町長の観閲と団長の訓示を受けて、競技が開始されました。

気合いのこもった指揮者の号令をうけ、一糸乱れぬ体形で日頃の訓練成果を披露する団員たちに、来賓や参観人の間から大きな拍手が寄せられていました。

防災の責務に燃え、真剣な表

また、審査長をつとめた本荘消防署の斎藤副署長からは、次のような講評があり、今後の課題とされました。

① 規律訓練で、報告人員と実際の人員に差のある小隊が全体の三分の一ほどあった。

② 横隊、縦隊の組み方が今一歩の感があった。

③ ほとんどの小隊が基準時間内に競技を終えているが動作の確実性をもっとしっかりしてはしかなかった。

成績は、次のとおり

〔総合の部〕

第一位 第五分団（梅津栄一分団長）

第二位 第四分団（石渡力造分

団長）

第三位 第三分団（村上種次分団長）

〔通常点検及び小隊訓練の部〕

第一位 第四分団

第二位 第五分団

第三位 第三分団

〔消防操法の部〕

第一位 第五分団第二部第一班

第二位 第二分団第二部第一班

第三位 第一分団第二部第一班

なお、通常点検及び小隊訓練と消防操法の第一位となった分団は、七月三十日に行なわれた本荘市由利郡消防訓練大会に本町を代表して出場し健闘しました。

講評 動作の確実性を

情で競技に取り組む団員たちのためにテントの設営や休憩の世話をする婦人消防隊員や後援会員たちも多く、防災に対する町民の意識が高いことをうかがわせました。

大会は、総合優勝の第五分団梅津栄一分団長の「住民の生命と財産を守ることを改めてキモに命じ、訓練に切磋琢磨する覚悟です。」という力強い答辞で午後四時過ぎに終了しました。

四頭。ジャージー種は、優等賞に入賞（館合新田、遠藤五郎さん）。

造も氏の功績。国英と号す。秋田県文化財保護協会理事。貴方の執筆された「五山」の雲上で安らかに眠られんことを。

7/13 町道大谷地線の潰れ地買収について、現地で説明会。異議なく全部了承していただく。

7/51 宿小、郡市小学校野球大会で優勝し、役場に挨拶にくる。やったナ、という実感。

7/14 高橋徳太郎氏葬儀戦時中ぼつめきの溜池の築

7/51 宿小、郡市小学校野球大会で優勝し、役場に挨拶にくる。やったナ、という実感。

藤正男 阿部 剛

▽監査委員の選任 議会議員の中から選出される町監査委員に梅津二三雄氏が選任されました

つづいて、次の案件につき審議が行われ、全案件が原案通りに可決されました。

一、稲子沢地区圃場整備事業二

〇二工区工事請負契約について

て

〇契約の目的 稲子沢地区圃場整備事業二〇二工区工事

〇契約の方法 指名競争入札

〇契約金額 二二、五〇〇千円

〇契約の相手方 東由利町田代字片符沢62 長谷山建設

〇工期 契約確定の日から昭和五十一年十月三十一日

二、稲子沢地区圃場整備事業二〇三工区工事談合契約について

て

〇契約の目的 稲子沢地区圃場整備事業二〇三工区工事

〇契約の方法 指名競争入札

〇契約金額 一七、〇〇〇千円

〇契約の相手方 仙台市大野田字北荒井9 株式会社興北協和

〇工期 契約確定の日から昭和五十一年十月三十一日

（七月十五日記）

運動不足と肥満は大敵

濃厚飼料より粗飼料を

町および農協の共催による第二十一回東田利町畜産共進会は上の台（旧玉米中学校グラウンド）に開催され、黒毛和種やホルスタイン種、ジャージー種など三十七頭が出陳され、優劣が競われました。

粒よりの優良牛を一同に集め、体型や資質を競い合うと同時に、個体解説などにより、畜産農家にとっては、またとない学習の場となっている畜産共進会は、町の畜産振興に大きく貢献しています。

そうした意味からも、町では数年前から出陳にかかる輸送費を負担するなど、出陳奨励につとめてきましたが、年々出陳数や参観人が減少し、いま一步の盛りあがりや欠いていました。今回もそうした例にもれず、肉用牛二十九頭、乳牛八頭の計三十七頭の出陳にすぎず、畜産振興に力を入れている本町の事態としては、いささか寂しい感がありました。

とは言え、出陳牛はいずれ劣らぬものであり、審査にあたった本庄農業改良普及所、由利農林事務所、中央家畜保健衛生所、由利畜産農協連合会、経済連由利支所の技師たちが優劣の判定に苦慮するほどで、本町の畜産農家の飼育技術が高い水準にあることを物語っていました。

また、審査員の方々は、審査の途中で参観者の中から牛の見方や飼育に対する質問がでると丁寧な教示するなどして、家畜

飼育者に喜ばれていました。

審査員を代表した中央家畜保健所の北川病性鑑定課長から「頭数は少なかったが、質がよく改良がすすんでいると思われ心強かった。個体は共通して足腰が弱いので、放牧場を利用するなどして、運動は十分にしよう心がけていただきたい。」

また、一部には肥りすぎと思われる牛もみられたので、各農家とも、濃厚飼料だけにたよることなく粗飼料をもっと多く与えてほしい」との指摘があり、今後一層の努力が期待されました。

上位入賞者は、次のとおり。

【黒毛和種若牛区】

▽一等賞
①きよはる号 佐藤正一（笹沢）
②第四はるひめ号 小笠原宇一郎（蔵新田）

▽二等賞

①第三はつきよ号 伊東栄喜（蔵新田）
②つよし号 畑山清一（下吹）

▽三等賞

①なにひめ号 小野寺勝蔵（板戸）
②なかうめ五号 小笠原正作（土場沢）
③第二ゆきひめの八号 小松健一（山崎）

【黒毛和種成牛区】

▽一等賞

①あさかげ号 高橋喜久治（館合新田）
②第五みつゆき号

鈴木国義（大琴） ③たけひめ号 佐藤昇（笹沢）

▽二等賞

①ふじひめ二号 高橋五助（久保）
②はるこ号 佐々木善一郎（大琴）
③はる四号 小野忠美（宿）

▽三等賞

①きよにしき号 小松健一（山崎）
②はるふじ号 阿部重雄（岩館）
③まさ三三三 畑山忠己（土場沢）

【ジャージー種】

▽一等賞

①パイオニアロジ号 遠藤五郎（館合新田）

▽二等賞

①ウイローロマンズウッドシグナル号 畑山克司（島）

【ホルスタイン種】

▽一等賞

①フィンランドビューティウエーバー号 大庭喜右エ門（舟木）

▽二等賞

①クインフレンヤードデルマシーズ号 宮塚昭三（新町）

【特別賞】

▽つよし号 畑山清一（下吹）
▽たけひめ号 佐藤昇（笹沢）

【団体賞】

▽肉用牛 館合地区
▽黒毛和種 宿・犬琴地区

郡共でも 半数以上が上位入賞

第十二回由利畜産共進会は、

七月九日本庄家畜市場構内で開

二十歳になったみなさんへ

国民年金に加入しましょう

わが国では、二十歳になると成人として多くの権利を得、同時に義務を負担し、大人としての真の第一歩を踏み出すこととなります。

年金に加入することも、成人となったみなさんにとって大人としての権利であり、また義務でもあります。

現在、わが国の年金は国民皆年金制度であり、すべての成人は、厚生年金や国民年金などいづれかの年金に加入しなければならぬことになっています。厚生年金は、会社などに勤める人を対象とした職域年金であります。

これら職域年金に加入することのできない農業や商業、自由業などにたずさわっている方々を対象としたのが、国民年金なのです。



国民年金は、不慮の事故や老後にそなえてあるもので、全国で二、五〇〇万人をこえる加入者の方々は、現在それぞれの人生設計を着実にすすめています。

若いみなさんにとって、自分の老後を考えるなどということ、何かつかみどころのないものかもしれませんが、老後は意外に早くやってくるものだと、先輩である多くの老人の方々がいわれるのを、あるいは聞いたことがあるかもしれません。

「老いる」という生物の宿命は、私たち人間とてのがれることのできない現実です。ですから、老後のことも若いみなさん自身の問題でもあるのです。国民のだれもが、老後の生活は穏やかであってほしいと願っています。

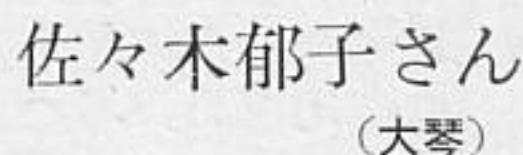
国民年金は、こうしたごく平凡な、最も人間的な欲求から創設されたもので、昭和三十五年からはじめられています。

国民年金の加入手続きは、役場住民課住民厚生係で行っていただきますので、厚生年金等に加入していない方、今年二十歳となった方は、忘れずに加入手続きを済ませてくにさい。

△届け出▽
時期 二十歳になった月
持参 印鑑
△年金料月額▽
一、四〇〇円

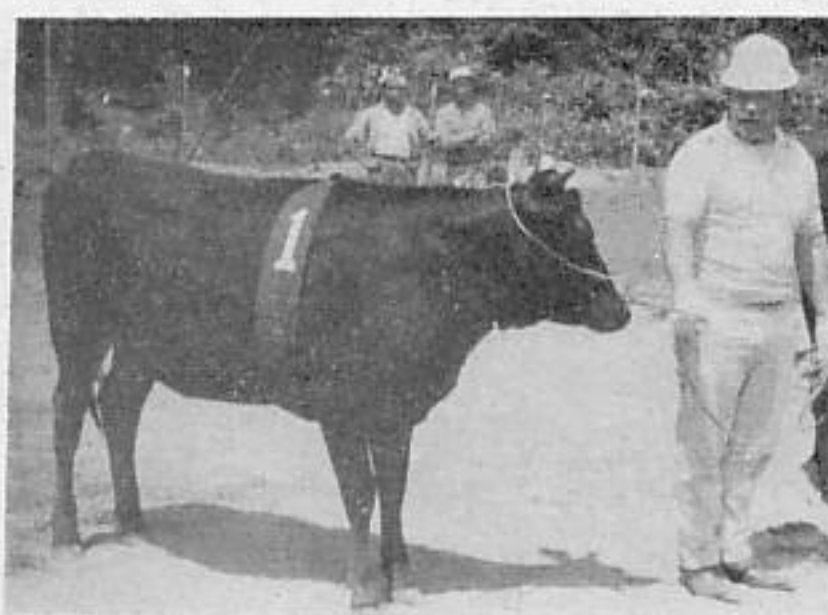
前号までの「子どもの目」にかわって、今号からは、在町青年男女を対象とした「走れ！青春」を企画しました。

この企画は、激動する現代社会に對する東由利青年の感覚と生活を紹介していくもので、第一回目の今回は今年成人となった佐々木郁子さんに登場してもらいました。



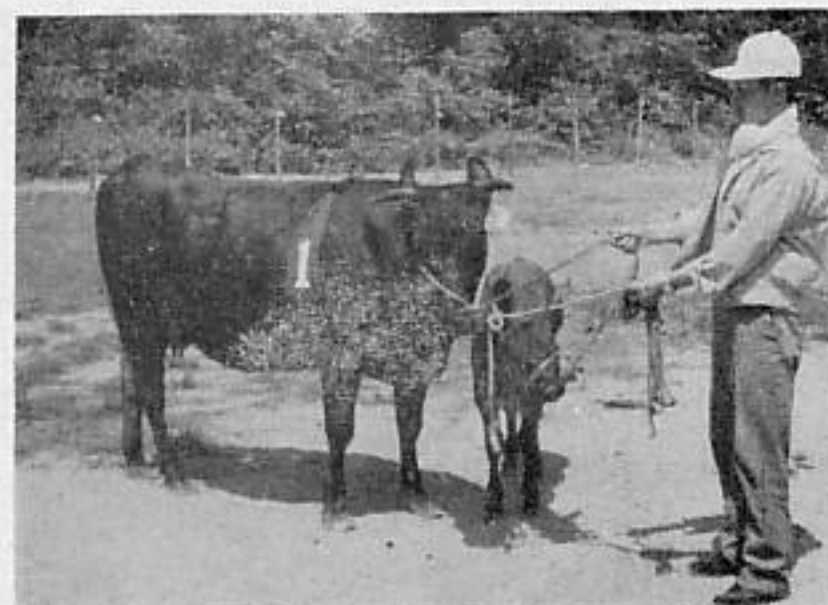
昭和31年3月3日生
三人兄妹の末っ子
永慶保育園保母

▶黒毛和種若牛区で一等賞一席
となったきよはる号



催され、郡市各市町村から選びぬかれた黒毛和種や乳牛など八十余頭が出陳され、優劣が競われました。

▶黒毛和種成牛区で一等賞一席となったあさかせ号



ヤーシー種二頭、ホルスタイン種一頭）が出陳されました。
資質を重点にした厳しい審査の結果、本町出陳牛は半数以上の四頭が上位に入賞しました。
本町からの入賞牛飼育者は次

▶ ジャー種で一等賞一席と
なったバイオニアロツジ号



のとおり。

義 二等賞 高橋喜久治・鈴木国

〈黒毛和種〉

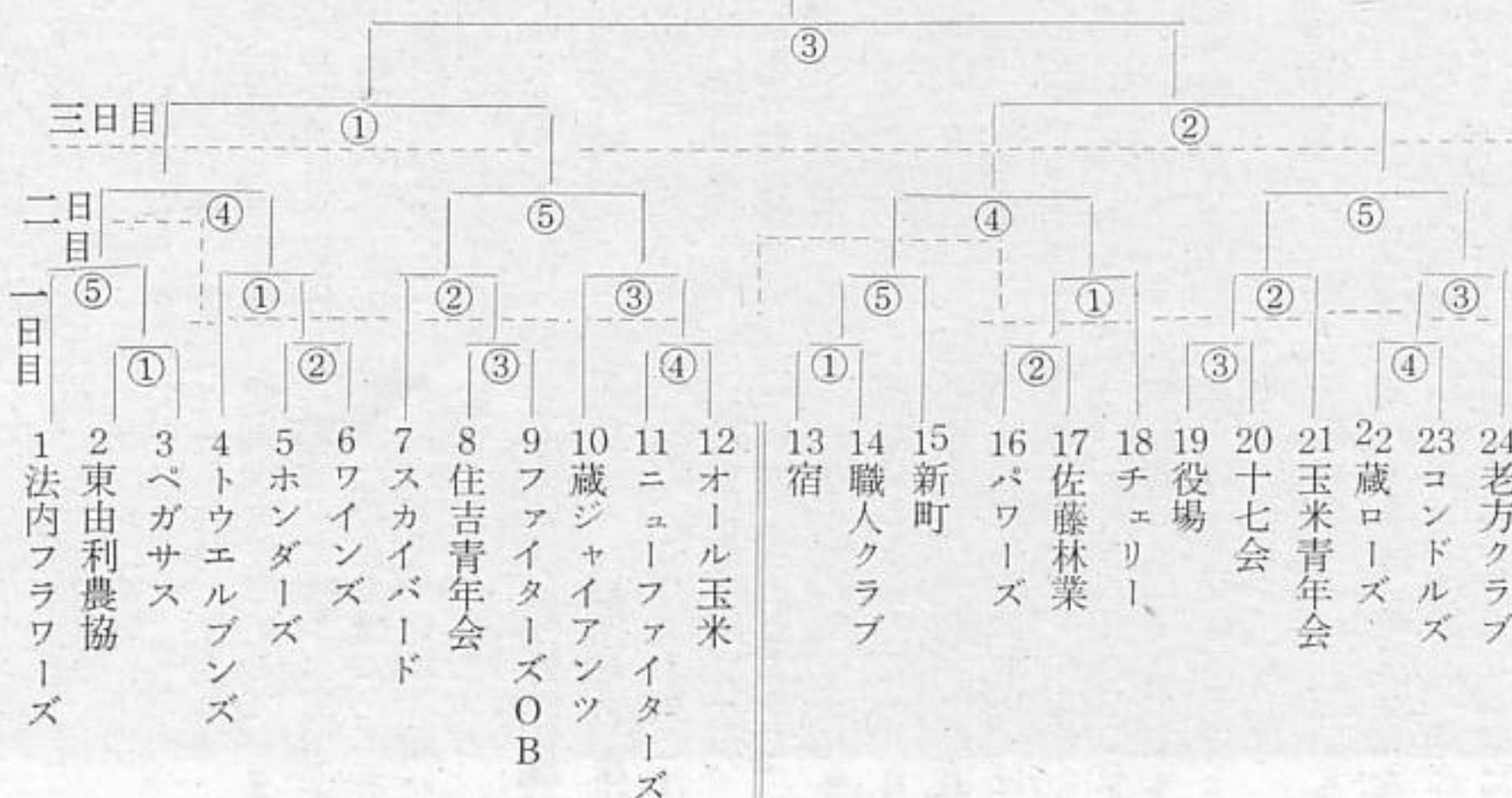
▶ホルスタイン種で一等賞一席となったフィンランドビューティウエーバー号



△ジャージ種▽
優等賞 遠藤五郎
一等賞 畑山克司

A (台山) グランド

B (上の岱) グランド



※番号の若い方を一塁側とする。第1日目、2日目とも第1試合は午前7時に開始。

史上最高の出場チム数

日程組合せ決まる

町野球協会（小松
民三郎会長）主催の

第十八回東由利町社

第十八回東由利町社会人野球大会の組合せが、去る七月十九日に開かれた監督会議で決まりました。

この大会は、お盆休みの行事としてすっかり町民の間に定着し、年々参加チームも増え盛会をきわめているものです。

今年の参加チームは、昨年より一チーム多い二十四チームであり、覇権を目ざしての熱戦が予想されます。日程、組合せ等は次のとおりです。

▼期日 八月十六日～十八日

▼場所 A グランド (雨天順延)
(台山)

B
グ
ラ
ン
ド
(上の岱)

やったぞ宿小ナイン

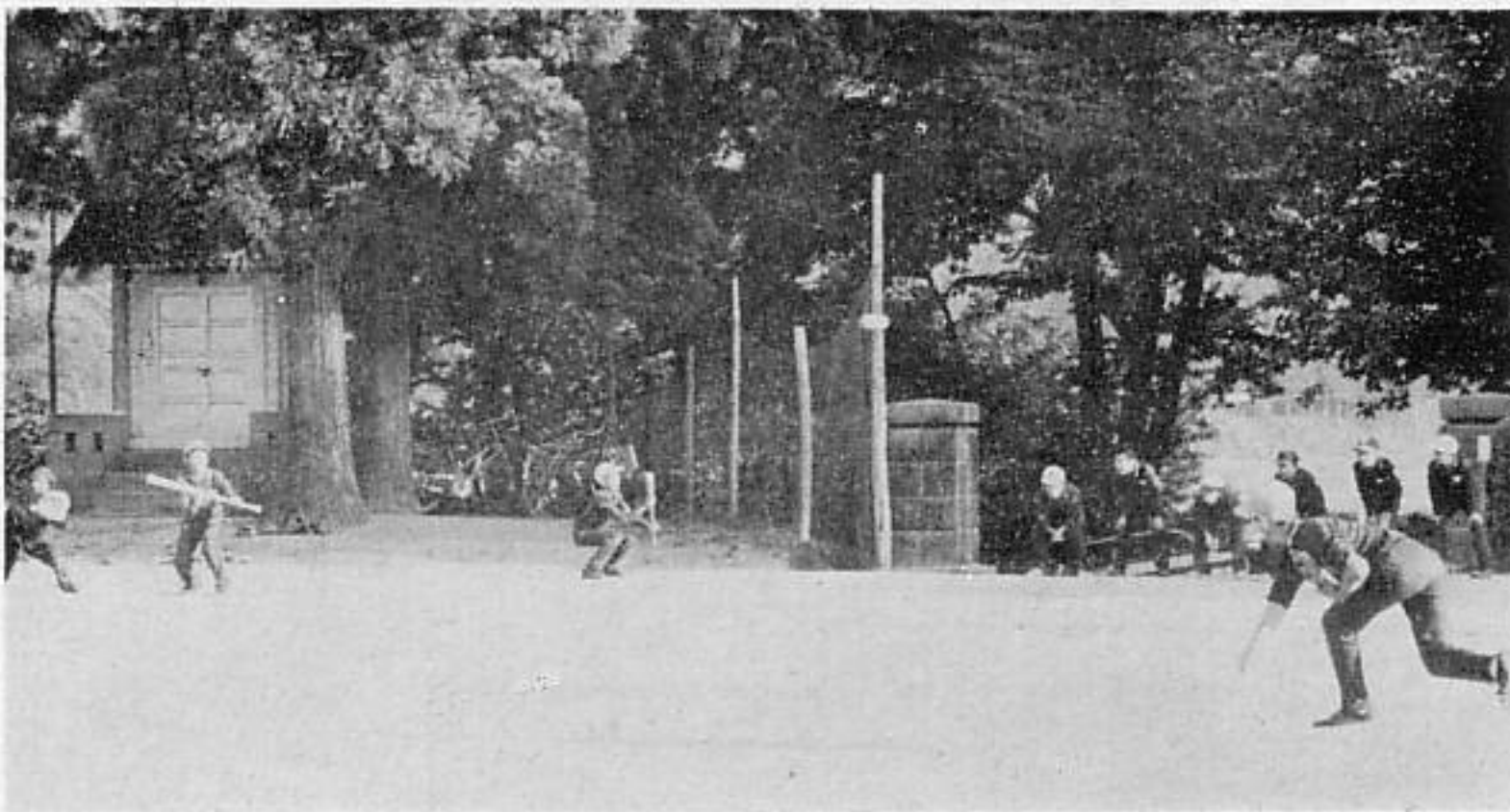
県大会を控え猛練習

(第3回郡市小) 学校野球大会

▽本荘市由利郡学校体育連盟主催の第三回郡市小学校野球大会は、去る七月十三、十五日の両日新山小学校グラウンドと本荘北中学校グラウンドを会場に開催されました。

▽本町からは宿小、老方小学校、玉米小学校の三校が参加しました。郡市大会は、宿小が、他の参加校と対戦し、初優勝を飾り、念願の県大会への出場権を獲得しました。

▽宿小チームは、この大会に第一回大会から出場しており、第一試合で敗退しており、その教訓をもとに昨年の大会が



練習に励む宿小ナイン

終るとすぐに、今年の第三回大会を目ざして猛練習をしていたものです。

他の学校は、クラブやスポーツの形でチームを編成しているのに対し、宿小チームは五、六年男子全員をもってチーム編成をしなればならないというハンディがありながら、部長の打矢先生や今春からコーチとして迎えられた大琴の日向健男さんの指導で、めきめき実力をつけておりました。

大会は、会場を二ブロックに分けて行われ宿小チームは、Bブロック(北中グラウンド)に出場しました。戦績は、

第一試合
宿小9-0石沢小(四回コールド)

第二試合

宿小6-0小友小

準決勝

宿小6-2鶴舞小

と、相手チームを全く寄せつけず、決勝に進出しました。

決勝では、Aブロック(新山小グラウンド)からの勝者岩谷小チームと対戦しました。

試合は終始宿小チームのペースですすめられ、二点をゆるした二回をのぞいては、完璧に近い布陣の宿小チームの圧勝でした。

岩谷小 0 2 0 0 0 0 0 2
宿小 0 4 0 2 0 1 x 7

また当日は、選手父兄をはじめ、地区の人たちが五十人余りも応援にかけつけ、宿小チームに好プレーや追加点があるたびに、拍手や歓声で選手たちを激励し、応援合戦においても他を圧倒していました。

大会を振り返って部長の打矢先生は、「第一回大会、第二回大会とも実力を発揮できないままに負けているのは、相手チームの実力よりも、生徒の精神的

な動揺が敗因となっていた。

今回は、そうしたことのないように、意欲的に練習試合を行い、チームプレーの徹底と場所なれによって自信をつけさせたのがよかったと思う。

いずれにしても、父兄や地区の方々の協力や応援がなければここまで頑張ることはできなかったかもしれない。

対戦相手チームは決っていないが、県大会でもがんばりたい」と語っていました。

県大会は、八月十三、十四日の両日、秋田市営八橋球場など四球場を会場に開催されることになっており、宿小ナインの健闘が期待されます。

町内見て歩き

あなたもやってみませんか

公民館で書道教室

今まで一度も筆を手にしたことのない人でも、書道が日常生活の中でいかにたいせつであるかを感じている人は、意外と多いのではないのでしょうか。

一方、毛筆の美しさは日本人の生活とかかわりあい、私たちがの中に脈々と生きつづけていることなどから、あらためて、その価値が見直されています。

町公民館では、こうした声にこたえるべく町民文化講座の一環として、六月二十三日から書道教室を開講しています。

教室は、蔵新田の木島正造氏を講師に迎え、六月二十三日から十月二十九日までの間に二十

今年の

成人式は15日に

今年の町成人式は、八月十五日に東田利中学校体育館と朋楽荘を会場に行われます。

今年の成人式の該当者は、二百三十二名です。

成人式の日程は次のとおり。

午前8時～ 受付開始

9時～ 式典

10時～ 記念講演

講師 県立大野台高等農業学園 西田道正氏

11時30分～ 記念撮影

12時～ 昼食交歓

(於朋楽荘)

公民館では、対象者の方々に

在町成人研修講座が

開かれます

また、この成人式とは別に「在町成人研修講座」が、次のとおり開催されますので、該当者多数の参加がのぞまれます。

◇期日 八月七日・八日

◇場所 公民館・朋楽荘

その他詳細については、公民館へお問い合わせください。

現在受講者は、三十九名であり、職業もさまざまな方たちが集まっております。中には夫婦で受講にきている方たちも何組あります。

気軽に楽しく書道を学べる教室として、受講者の間でもなかなか好評です。

受講申込みのメ切りは、もうすでに終わっていますが、これにこだわることなく、これからでも希望者の受講はおおいに歓迎されています。

どうですか、この際にあなたも書道を習ってみませんか

お問い合わせは公民館へ

電話二三一一

夏の交通安全運動

8月1日～8月10日

交通事故死ゼロを目ざして

「ゆとりで走ろう」運動に参加しよう。

実施事項

- 1、子どもと老人を事故から守ろう
- 2、自転車利用者を事故から守ろう
- 3、飲酒運転を徹底して追放しよう
- 4、スピードをおさえ、安全運転を励行しよう
- 5、暴走族をみんなの手で追放しよう
- 6、危険個所の点検など交通環境の整備をしよう

老人だ！

子どもだ！

早めにブレーキだ！

夏休みも
キケンが
いっぱいです



子どもを水の事故から守ろう

町内の各小中学校は七月二十五日から夏休み入っています。毎年この夏休み期間には、子どもの水の事故が、新聞などで報道されています。暑くなるとともに、子どもたちは水遊びをしたり、魚取りをしたりして、どうしても危険な場所に近づくことが多くなります。昨年、県内で水の事故によりなくなった人は六十八人で、このうち三十二人は、中学生以下の子どもです。これらの事故をみる

と「もっと注意していたら……」と悔やまれるものがほとんどでした。

私たちの回りには、常にたくさん危険が渦巻いていることを忘れてはなりません。

子どもを水の事故から守るため、親や周囲の大人は次の点に注意しましょう。

- 水の近くでは、幼児から目を離さない。
- 危険なところには、サクヤフタをつける。

○ フロの残り湯は二十度以下にしておく。

○ 定められたところ以外での水泳は、みつけしだいにやめさせる。

○ ふだんから、水の恐ろしさについてよく教えておく。

○ 危険区域には、水遊びや水泳禁止の立て札を多く立てる

○ 常に子どもたちの遊んでいるところには、危険なところがないか、気を配る。

—税務署から—

災害を受けたときは

税の減免手続きを

風水害や火災などで、万一被害を受けたときには、税金の面においてもいろいろな救済の方法があります。

▼雑損控除による方法

被害を受けた損害額が、その年の所得金額の一〇割を超える場合には、その超える金額から控除する方法です。

この場合、損害額が大きくて控除しきれない金額は、翌年以降三年間繰越して各年の所得金額から控除できます。

▼災害減免法による方法

住宅や家財に、その価額の半分以上の損害を受け、しかも、その年の所得金額が四百万円以下の場合には、所得金額の大小に応じて、所得税を全額免除したり、軽減したりする方法です。

災害を受けた人は、確定申告をしていざれか有利な方法を選択することが出来ます。

なお、予定納税をしなればならない人は、予定納税の段階でも減免の適用を受けることが出来ます。

また、サラリーマンの方が災害を受けた場合は、給与を支給されるときに、源泉所得税の徴収猶予やすでに納めた税金の還付を受けることが出来ますのでそれぞれの申告書を、税務署へ提出してください。

この場合、必ず翌年三月に確定申告をして、所得税の精算をしなければなりません。詳しくは、最寄りの税務署にお尋ねください。

珍事二件

西久保でアカメロ発見
過日、西久保の皆さんはセキネ工事をしていた際に珍しいドジョー(?)を発見。だがつかまえてみるとドジョーにあらず。皆さんで調べてみたところ「アカメロ」という結論。アカメロは学名「アカザ」。同地区では、三十余年ぶりの発見とか。



岩館に石油がたぞ
六月某日、石館地内の高瀬川の堤防工事をしていた際に、黒いドロドロしたものが噴出。他町村では基盤整備などの際によく見られるというが、本町では始めて。専門筋で調べてもらったところ原油にまちがいない。埋蔵量は、およそ?



町民のひろば



気軽にご利用を！

「県民相談日」の開設

由利総務事務所で

県では、九月六日(月)から

毎月第一月曜日の午前中、県内の各総務事務所にて「県民相談日」を開設することになりました。

これは、県民の皆さんから県政についてのご意見、ご要望や苦情、相談などを各総務事務所長が承わり、その解決をはかるとともに、県民の声を反映した住民参加の県政推進につとめようというものです。

日ごろ、県政についてお気づきの点や相談用件について、この相談日にお出かけのうえ気軽に話し合われるよう、皆さんのご利用をお待ちしています。

一、相談日の開設 毎月第一月

町の概要

人口総数 6,590人
うち男 3,243人
うち女 3,347人
世帯数 1,505戸
面積 148.51km²

電報電話局からのお知らせ

◇ 51年度版電話帳配付
(50音別 51.5.20 現在) (51.8.1 発行)

現在、各加入者へ昭和51年度版電話帳を配付していますが、万一、洩れた方は2000番へ連絡してください。

新設加入者

加入者氏名	設置場所	電話番号
小野 春賢	蔵	2412
小松七次郎	老方	3510
大沼 一広	蔵	2425 (代表)
佐々木克己	老方	2413
下村 宏二	住吉	2414
阿部清太郎	西の浜	3019
長谷山 万	石高	2097
小松竹三郎	老方	(改番) 3173→2066
菊地 寅蔵	祝方	(〃) 3687→3283
小野 作美	老方	(譲受) 3149
佐藤 安吉	日照坂	(〃) 3275

献血にご協力ください

あかつき号 9 日に来町

移動献血車あかつき号が、来る八月九日に来町しますので、たくさんの方々が協力くださるようお願いいたします。

日程は、次のとおりです。
午前10時30分～11時30分 大琴診療所前
午後2時～3時30分 役場前

替の手続きはお済みでしょうか

お確かめください あなたの定額貯金証書

郵便局から

郵便局では、昭和四十九年九月二十三日以前にお預けになった定額貯金の、利息が有利になる手続きを取り扱っています。

この取り扱いには、(替)とよばれており、昭和五十二年一月十三日までです。まだお済みでない方はお手持の貯金証書の日付けをお確かめのうえ、郵便局で(替)の手続きをしてください。

(替)とは……定額貯金の利率は、お預けになった時点の利率がそのまま十年間適用されます。

そこで、簡単にこの再預入の取扱いをうける方法として、来年一月十三日までの間に、(替)の手続きをされますと、すべて昭和四十九年九月二十四日にさかのぼって有利なお取り扱いが受けられる、というものです。

善意

大琴の佐々木賢次さん76才は、このほど宿小中学校に外ボウキ25本を送り学校側から喜ばれています。

舟木、畑村、杉森地区の若妻会では、宿小中学校に雑巾22枚を送り喜ばれています。

東由利町連合婦人会宿支部(佐々木テル支部長)では、このたび宿小中学校に、雑巾100枚を送り感謝されています。

各小中学校にハシゴを贈る町建設技能組合青年部(佐々木日出夫部長)では、このほど町内各小中学校にハシゴ一脚ずつ贈り喜ばれています。

防犯協議会に
水銀防犯灯を贈

東北電力株式会社本荘営業所では、同社が七月十四日から行った「サービス旬間」に際し、町防犯連絡協議会に水銀防犯灯一基を贈りました。

同灯は、中学、高校の通学路となっている台山支線沿いに建てられ、喜ばれています。

ゴミは

決められた日に
決められた所へ

食中毒に注意！

夏は、ほかの季節に比べて食物の変質が早く、食中毒のこりやすい季節です。新鮮なもの、新しいものを食べるよう心がけましょう。



6月21日～7月25日

誕生



おめでと

佐藤晶子 泡ノ淵 良一 長女
高橋英樹 泡ノ淵 健一 長男
佐藤友也 湯出野 久穂 長男
大庭真悟 舟木 清一 長男
小松茂明 田代 茂勝 二男
畑山 敦 下吹 清雄 二男
小野理世 館合新田長松 二女
佐藤直人 下小屋 文雄 二男



結婚
おしあわせに

小高 松橋 信子 地下ノ沢
小高 松橋 美恵子 寺田
小高 松橋 美恵子 本荘市

お悔み申し上げます

阿部キン 野田 71歳
大沼イテ 蔵新田 86歳
遠藤源治 家ノ下 75歳
高橋徳太郎 久保 77歳
長谷山政太郎 湯出野 72歳

東由利町報

No.238 昭和51年8月15日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日・15日発行



〈被災 そして一年〉

昨年八月の豪雨災害は、通算して 280mmもの雨が7億5千万円を越える被害をもたらしました。

被害が最も大きかったのは、土木関係と農業関係の災害で、特に私たちの生活道路は、国道5箇所、県道12箇所、町道27箇所が決壊や土砂くずれをおこし、一時は、他市町村との交通が完全にストップし、また、孤立する部落もできました。

そして1年、生活道路はほとんど復旧し、また、農地も大部が甦り、秋の収穫を待っています。

No 238

8

15

旧復害

町では、現在どういう事業が行われているのか、どの事業がどれだけすすんでいるのか、そうしたことをぜひ知りたいという町民からの声も多くあり、今号から隔号で、町がこれまで行ってきた事業、今行っている事業、そしてこれから行おうとしている事業について、写真を中心に紹介していくことになりました。

一回目の今回は、昨年八月の豪雨災害の復旧状況を取りあげてみました。

被災個所 九割以上が今年度中に

災害の復旧を単年度で行うことは、財政的にもムリなので、その緩急度に応じた三か年計画がたてられており、五十年にひきつづき、今年度も復旧工事がすすめられています。

特に、農業用施設災害の復旧は、水田の場合などは、その作柄にも大きく影響することになりますので、急を要します。また、河川災害の跡は、次の豪雨時の大災害の因ともなりますので、早期の復旧がなされなければなりません。

こうした現実の要請に答えるために、町では本年度中にも災害の大部分を復旧したいとして、国や県への要請や協議を行い、復旧に努めてきました。

町民一人一人が、昨年の豪雨災害を単に過去のこととせず、またの万一の場合に備えて、ふだんから防災に心がけておきたいものです。

災害は、その九割以上が本年度中に完成することになっています。

中心的な生活道である
国道の復旧は急
がれた
(横渡で)

〈国道〉被災 5個所
復旧 5個所 (総工事費18,015千円)

〈県道〉被災 12個所
復旧 12個所 (総工事費21,358千円)

〈町道〉被災 27個所
復旧 23個所 (総工事費25,824千円)
発注済 3個所 (総工事費 6,974千円)
52年度発注 1個所 (査定額12,418千円)

〈林道〉被災 44個所
復旧 35個所 (総工事費10,246千円)
発注済 5個所 (総工事費12,498千円)
52年度発注 4個所 (査定額 4,435千円)

道路



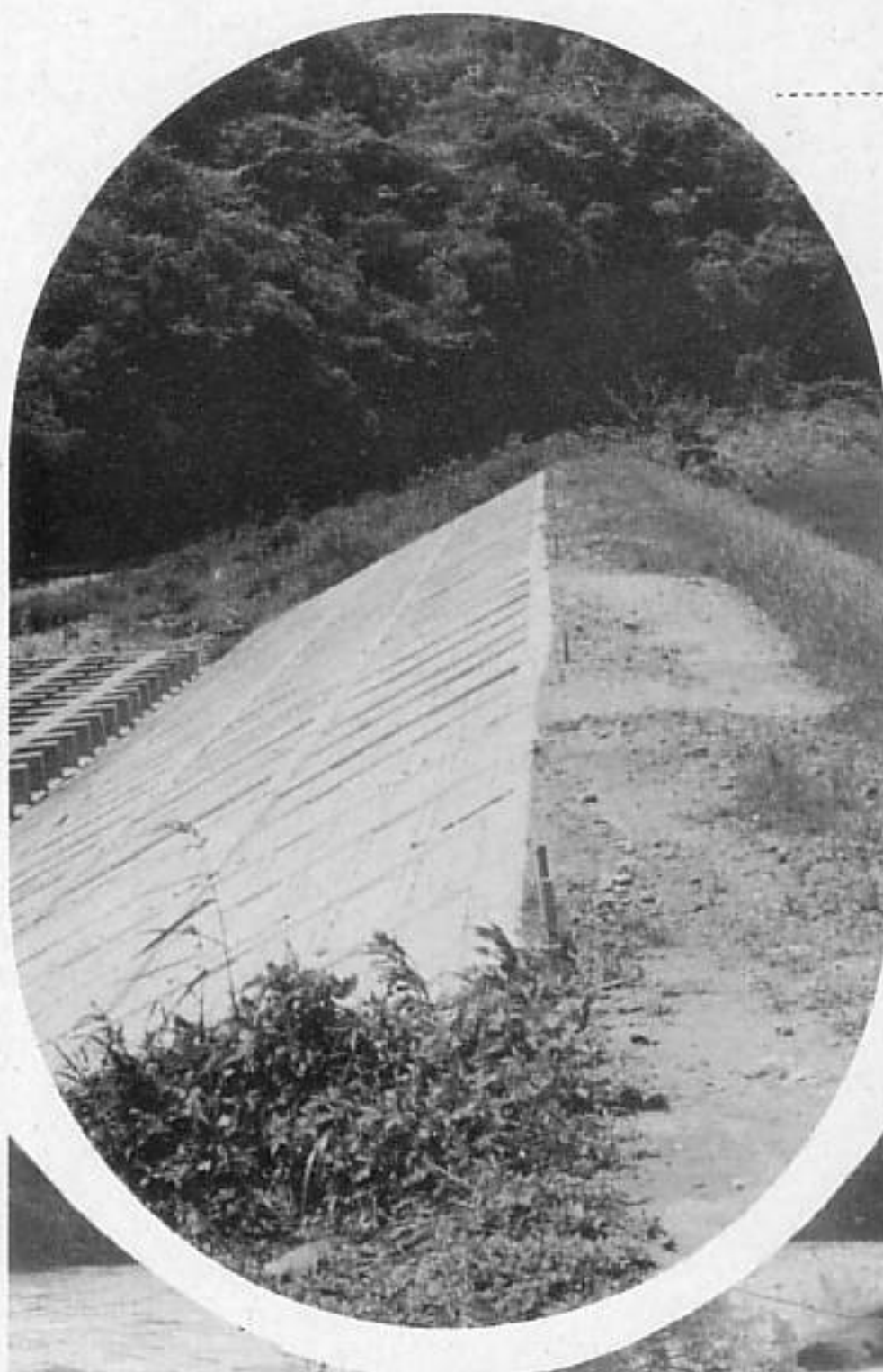
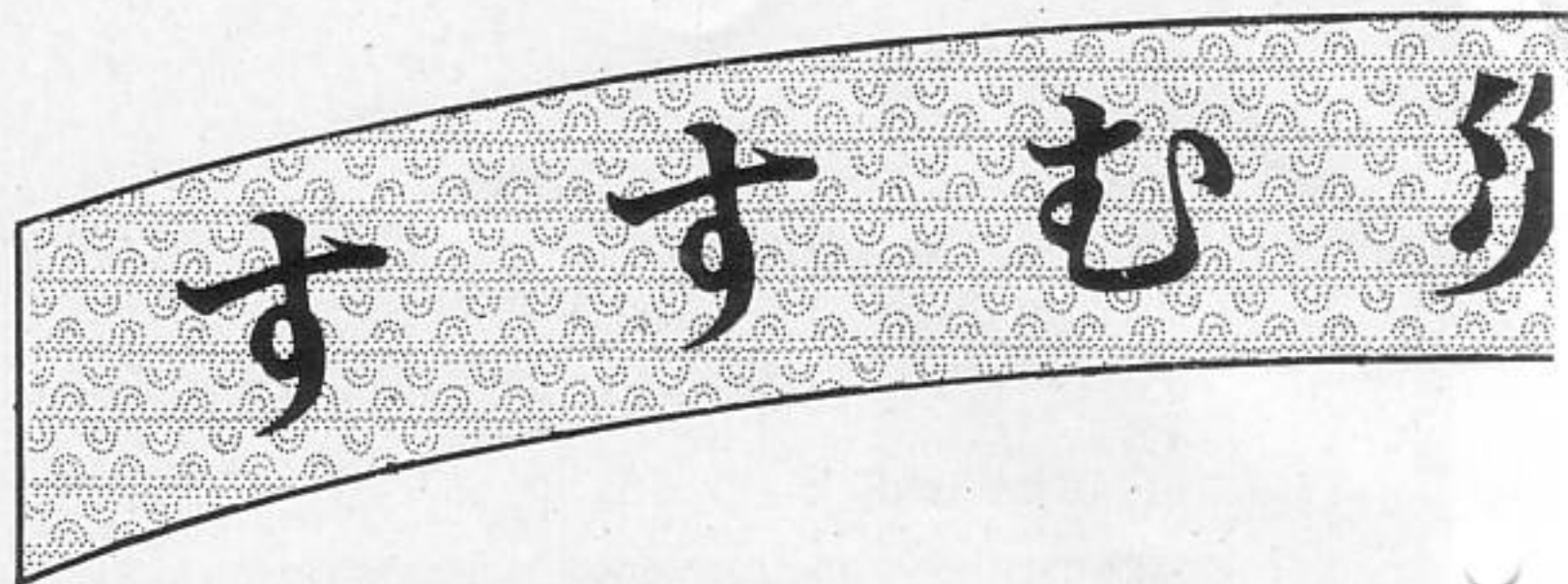


被災 60箇所

復旧 45箇所 (総工事費 160,600千円)

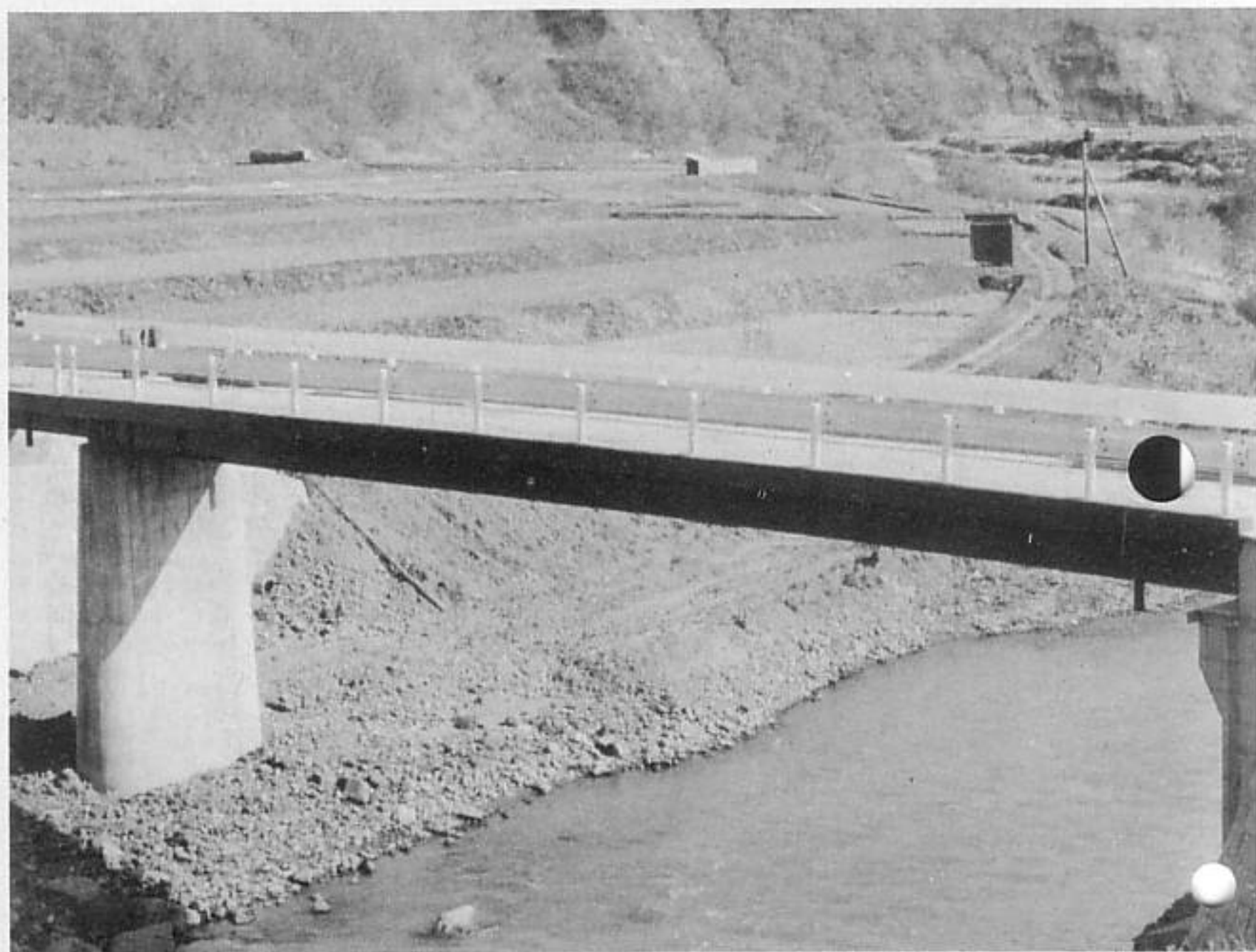
発注済 7箇所 (総工事費57,647千円)

52年度発注 8箇所 (査定額58,666千円)



●あの惨害がまるでウソのように甦った提防

▶橋台だけとなった小田橋(右)も
すっかり復旧(左)



▶提防沢壊は水田に多くの
残骸を残した(畑村で)

▶床下、床上浸水家屋には消毒班が出動して伝染病などの予防に対処

▶被害の瓜あとを一部に残しながらも
提防は完成(大琴で)





被災 25箇所

復旧 20箇所 (総工事費 9,587千円)

発注済 5箇所 (総工事費 3,396千円)



▲被害田の復旧に費やした労力は大きかった(杉森で)
◀農地はまもなく全被害が復旧する(袖山で)



▲揚水機は全て復旧(舟木で)
▼頭首口も来年度には1箇所を残すのみ(久保で)



〈水路〉被災 29箇所

復旧 17箇所 (総工事費22,040千円)

発注済 8箇所 (総工事費10,923千円)

52年度発注 4箇所 (査定額 3,884円)

〈頭首口〉被災 17箇所

復旧 12箇所 (総工事費31,370千円)

発注済 4箇所 (総工事費 6,590千円)

52年度発注 1箇所 (査定額 999千円)

〈橋梁〉被災 16箇所

復旧 5箇所 (総工事費24,608千円)

発注済 5箇所 (総工事費11,633千円)

52年度発注 6箇所 (査定額17,086千円)

〈道路〉被災 10箇所

復旧 2箇所 (総工事費 1,798千円)

発注済 3箇所 (総工事費 4,513千円)

52年度発注 5箇所 (査定額19,322千円)

〈揚水機〉被災 4箇所

復旧 3箇所 (総工事費 3,660千円)

発注済 1箇所 (総工事費 1,067千円)

〈溜池〉被災 2箇所

発注済 2箇所 (総工事費 2,511千円)



水路も9割が今年
度中に復旧
(小倉で)

お詫びと訂正
七月二十五日発行号外の
二ページ下欄の「各候補者
の得票」中、小松豊氏の得
票が、「一九三・三五八票
」になっていますが、これ
は、「一九八・三五八票」
の誤りでした。
お詫びして訂正します。